



腎臓内科



腎臓内科では、主に蛋白尿などの尿検査の異常、腎機能低下、透析、治療抵抗性の高血圧などの診療を担当しています。

外来

初診には、健康診断で尿検査の異常を指摘された方からすでに腎機能が低下している方で、多くの方が受診されています。近隣の先生方からも紹介をいただいております。この場を借りて御礼申し上げます。蛋白尿や腎機能低下が持続している状態は慢性腎臓病と呼ばれ、本邦では1300万人以上の患者さんがおられ、これは成人の8人に1人に相当します。慢性腎臓病の原因には、糸球体腎炎のように診断に腎生検を要し、治療によっては腎予後を改善できる疾患もあります。そのため当科では、受診された患者さん毎にこれまでの経緯についてお話を聞き、血液検査・尿検査・画像検査などから、先ずはその原因を検討しています。



後列 左から 水野看護師長 吉田主任看護師 森田看護師
前列 左から 村井医員 中川部長

実際には、保存的な治療が主体となる腎硬化症のような病態が多いのですが、それでも慢性腎臓病は心血管疾患のリスク因子になりますので、患者さんには病状を理解頂けるようお話しし、家庭血圧などの他の心血管リスク因子の確認を行い、食事療法などを指導します。

治療に関しては、ACE阻害薬/ARBをはじめ、最近注目されるようになったSGLT2阻害薬やアルドステロン拮抗薬など、病態に応じて積極的に用いる内服薬も増えています。上記のように慢性腎臓病は患者さんの人数が大変多い領域ですので、紹介いただいた患者様には説明・指導などの後、紹介元の先生にリスク因子の管理や薬物治療をお願いしています。

ただ末期腎不全のリスクがあるようなケースについては、3～6か月程度後に再受診を勧めています。その際には治療薬への確認や提案を行うこともありますので、紹介元の先生に改めて診療情報の提供をお願いしております。また受診段階ですでに腎臓病として進行しているケースもあり、この場合はそのまま当外来で治療を引き継がせていただくことがございます。

どのような段階で総合病院の腎臓内科に紹介するのがよいかとご質問をいただくことがございます。詳しくは慢性腎臓病の診療ガイドラインに専門外来受診の目安が示されていますが、実際には診療されている先生・患者さんどちらかが不安をお感じになっているようなら気軽にご紹介いただければ幸いです。思いのほか軽症であっても、患者さんが受診してよかったですと感じていただけるような診療を心がけております。

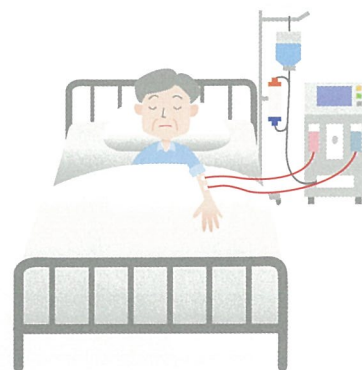
入院

腎臓病の入院としては、まず慢性腎臓病の教育入院があります。これは当科の外来で診断・説明を受けた患者さんで、さらに今後の療養に必要なことを学びたい方へ提案しており、3泊4日になります。(教育入院だけの希望はお受けしておりませんので、興味のある患者様についてはまずは外来受診をお願いいたします。)入院では実際の食事の他、運動、フットケア、口腔ケア、腎代替療法(透析)の実際などを学んで頂いています。その他の入院としては、シャント作製(初回)、透析導入などがあります。また当科では他院で透析されている方の入院中のサポートや入院患者さんの急性腎障害にも対応しています。

透析

血液透析は主に人工透析センターで行っており、センターは10床のベッドで運用しています。

主に透析導入期の患者さん、また紹介や救急で入院が必要となった維持透析患者さんの血液透析を行っています。導入期の患者さんは一段落したところで維持透析を行っている病院へ紹介させて頂いております。(すでに他院で透析を受けておられる患者さんの維持透析通院については、原則受け入れておりません。)



文責／済生会富山病院 内科部長 中川 泰三

腎臓内科の診療については、
当院医療福祉支援センターまでお問合せください。

TEL : 076-437-1120

腎臓内科 外来担当表	月	火	水	木	金
午前	村井(初診)	中川(再診)	——	中川(村井) (初診)	——
午後	中川・村井 (再診)	——	中川・村井 (再診)	——	——

● 今回より部署紹介スタートします!! ●

栄養管理科の紹介

栄養管理科は医師1名、管理栄養士の病院職員6名（現在2名育休）と給食委託職員15名で構成された混合部署です。管理栄養士が中心となり、入院患者さんに対し、治療の一環として「個々の病態に合わせた食事の提供」「栄養補給の提案」「栄養指導」のほか、外来患者さんへの「栄養指導」、多職種チームの一員として当院を利用している方、地域住民の方に対しての「市民公開講座」など、食事や栄養に関わる全般の業務を行っています。

食事

患者さんの病態や食べる機能に応じた食事を1日約500食提供しています。また、少しでも食事を楽しんでいただけるように季節に応じた行事食、2種類の献立から選べる選択食（常食のみ）を行っています。



紅葉弁当



海の日

栄養指導

入院・外来の患者さんを対象として、医師の指示の下に疾患に合わせた食事に関する指導を行います。外来の患者さんに対しては、栄養指導の一環として入院患者さんに提供している食事を試食していただくこともできます。栄養指導を希望される患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。

- 食事指示内容**
- 糖尿病
 - 糖尿病性腎症
 - 腎臓病
 - 高血圧症
 - 心臓病
 - 胃潰瘍
 - 術後易消化
 - 肝臓病
 - 膵臓病
 - 妊娠疾患
 - 貧血症
 - 摂食嚥下障害
 - 高尿酸血症
 - 肥満症

チーム医療活動

NST、摂食嚥下サポートチーム、褥瘡対策サポートチーム、RST、骨粗鬆症リエゾンチームの回診・カンファレンス、心臓リハビリテーション、緩和ケア、糖尿病ケア等のカンファレンスに参加しています。市民公開講座では食事や栄養の講話を行っています。

文責／済生会富山病院 栄養管理科 竹之内 弘美



前列左から 松波管理栄養士・竹之内栄養管理科係長・木村栄養管理科部長・澤田栄養管理科主任・佐竹管理栄養士
後列 給食委託業者

当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

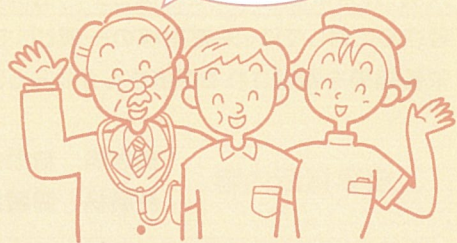
診察予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

検査予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

CT・MRI検査
予約枠変更と
なりました。
ご了承ください。



検査予約時間	CT	心臓CT
	10:00～11:30 (火以外) 13:30～16:30 (月・水・金)	月 14:00～15:00 火 14:00～14:30 水 14:00～15:00 木 14:00～14:30 金 14:00～15:00
	RI	
	8:30～11:30 13:30～16:30	
	MRI	
	13:30～16:30 (月・水・金)	

※造影検査に限り、水曜日は予約不可となりますので、ご了承ください。

富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1120(直通) FAX 076-437-1131(直通)

ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 医療の質向上をめざすこと
- 地域に貢献すること
- 自己研鑽と育成に努めること
- 健全経営をめざすこと

行動指針

- 私たちは 患者さんの立場にたって行動します
- 私たちは 患者さんの権利を尊重します
- 私たちは 信頼される医療を提供します
- 私たちは 生活困窮者を支援します
- 私たちは 働きやすさとやりがいのある職場をめざします
- 私たちは 同心協力の心を大切にします
- 私たちは 法令・規則を遵守します
- 私たちは 自己研鑽に努めます
- 私たちは 次代を担う医療人を育てます
- 私たちは 安定した事業の運営をめざします

患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

①患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- プライバシーが守られる権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利

②患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 療養に専念する責務
- 医療費を支払う責務
- 診療行為に協力する責務
- マナーや規則を守る責務